

# 製本のススメ

Vol.41

街ではクールビズの背広姿が目立ち、八百屋の店先には初夏の香りいっぱいメロンやスイカが並び始めました。まもなく雨雲の後ろから、夏が元気良くやってきますね。

今回から修正できない不具合のお話（2回目）

今回はボトリングの説明をいたしましょう。紙を何回も折っていくと、内側になった紙は少したわんでいきますよね。そのままプレスをかけると、内側の紙にシワ跡がでてしまいます。チラシやポスター等の大きな紙を広げると、真ん中あたりにシワが出ているのを見たこともあるでしょう。これがボトリング現象(折シワ)です。

紙といえども厚みがありますので、何回も折り重ねることにより、その厚み分だけ紙が逃げようとして、たわみを生んでしまうわけです。これは折加工の技術が悪い訳ではなく【**当然発生する出来事**】なわけです。

下に主な要因を挙げておきますので、参考にしてください。

## 用紙の斤量

斤量に関係なくボトリング現象が起きますが、基本的に折加工ではトンポで位置合わせをしますので、折小口側で紙を合わせやすい薄手の用紙の方が目立ちます

(発生例：16頁掛け印刷で50頁を超える中綴じ冊子等)

## 紙目

紙は縦目に対して伸縮が少なく、横目では大きいという性質がありますから、最終の折が縦目で折れるように面付けする

むろん対策が無いわけではありませんが、**完璧に回避はできません**ので、多少は発生するものだと頭に入れて、打ち合わせや面付け等を検討されるとトラブルも最小限にできますね。



## Tea break

この季節天気予報は欠かせませんが、降水確率0%というのに雨が降ってきた！という経験はありませんか？この降水確率は1ミリ未満の雨については対象外だそうです。キツネの嫁入りと称される天気雨もこの類ですが、1ミリ未満といえども、降っている時間によっては結構濡れちゃうのも事実。「春雨じゃ濡れて参ろう」という名台詞もありますが、家に着いた頃にはビショビショだったなんてカッコ悪いですね。

by (株) 井関製本